

プロジェクト10周年記念!

レクイエム・プロジェクト神戸2018

～阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、そして多くの被災地への思いを込めて～

神戸に集う! 思いを重ね、歌に託して!



- 主催：レクイエム・プロジェクト実行委員会、レクイエム・プロジェクト神戸実行委員会
 後援：兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、各新聞社、各テレビ局などを予定。
 特別協賛：株式会社 ケー・エフ・シー
 協賛：三菱東京UFJ銀行、(株)西都
 (株)河戸製作所、(有)協立技工、(株)ケー・エフ・シー マスディック、(株)コマックス、(株)三友ファスニング、サンライズ工業(株)
 (株)タアッド、(株)中外精工、日本管工(株)、(株)羽根産業社、富士テクノ(株)、(株)村井製作所、(有)ロードファスニング、(有)平中鉄工所
 協力：(株)ジーベック、和田 忠(グラフィック・デザイン)

レクイエム・プロジェクトは、2008年に神戸で始まり、全国に広がる追悼と希望の合唱プロジェクトです。
 神戸ルミナリエの会場音楽を1999年から現在まで毎年作曲している作曲家・上田益が主宰しています。
 プロジェクト10周年を記念し、神戸のほか、東日本大震災被災地の仙台、北いわて、陸前高田
 そして東京、広島、長崎などから総勢約230人が参加します。

2018年 1 / 21 日

開演：午後1時30分(開場：12時30分)

会場：神戸文化ホール・大ホール

入場料：一般前売：1,800円(当日2,300円)

高校生以下：1,000円(前売、当日共)

※高校生以下のチケットは、神戸文化ホールプレイガイドおよび実行委員会でのみ取扱い

チケット取り扱い

神戸文化ホールプレイガイド 電話：078-351-3349
 および神戸実行委員会(兼：お問合せ)／藤井 電話：080-6186-2116

電話・携帯・スマホでもチケット購入可能!右記電話番号またはQRコードからどうぞ。お近くのセブンイレブンで受け取れます。



神戸文化ホール：神戸市中央区楠木町4-2-2 TEL.078-351-3535(代)
 ●神戸市営地下鉄<西神・山手線>「大倉山」駅・西1番出口より徒歩1分
 ●私鉄「高速神戸」駅より徒歩8分、JR「神戸」駅より徒歩10分

電話予約

カンフェティチケットセンター
 (平日 10:00~18:00)

0120-240-540

※オペレーターが対応します。メモの用意をして、お電話下さい。



ごあいさつ

2008年に神戸で始まった追悼と希望の合唱プロジェクト「レクイエム・プロジェクト」も、
2018年に10周年を迎え、来たる2018年1月21日(日)に神戸文化ホール大ホールに於きまして、
10周年の記念演奏会を開催致します。プロジェクトを実施している各地の指導者・ピアニスト・合唱団有志が
神戸に多数集まるこの演奏会は、これまでの集大成であると同時に、今後も継続していくこの
プロジェクトの活動と思いが、より多くの方々に伝わり、広がっていくための大切な機会だと思っております。
是非とも会場で被災地各地の思いを共有していただければ幸いです。

心より、ご来場をお待ちしております。

作曲家、レクイエム・プロジェクト代表
上田 益(うへだ すずむ)



京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業。廣瀬量平氏に師事。京都音楽協会賞受賞。1980年度文化庁芸術家
国内研修員に選出され、東京において研鑽を積む。1999年から現在まで神戸ルミナリエ会場音楽の作曲を担当。その追悼
と希望の楽曲は既に110曲を超えている。2005年からは阪神淡路大震災の犠牲者のための「追悼コンサートいのり
のとき」を神戸市内で毎年開催。2008年より震災から15年となる2010年1月17日に向けた「レクイエム・プロジェクト」を
神戸で実施し、「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」(全音楽譜出版社)を作曲。その活動はこれまで全国10箇所
で行われ、現在も神戸のほか、東京、佐用町、北いわて、仙台、広島、長崎の7箇所で継続して行われている。海外でも
レクイエム・プロジェクトのコンサートが行われ、2012年にはプラハ(ドヴォルザーク・ホール)、2014年にはウィーン・
聖シュテファン大聖堂主催の公式グランドコンサートにおいて、「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～」などを演奏。
10分以上のスタンディング・オベーションが続き、教会でのコンサートとしては異例の反響となった。また2016年9月には、
バチカン教皇庁の特別な許可により、復興祈念、平和への祈りを目的としたレクイエム・プロジェクト「バチカン・イタリア特別
公演」を行い、サン・ピエトロ大聖堂、システィーナ礼拝堂(以上バチカン)、聖フランチェスコ聖堂(アッシジ)、サンタトリニータ
教会(フィレンツェ)で、各被災地からの合唱団有志らと共に演奏を行い、大成功を収めた。さらにはこの公演に際し、新作
「Missa Brevis ～平安への祈り～」(全音楽譜出版社刊)を、フランススコ法王に献呈する榮譽を教皇庁より与えられた。

プログラム

レクイエム・プロジェクトで生まれ、全音楽譜出版社やカワイ出版から出版されている上田 益・作曲作品から、
厳選抜粋した作品を、ピアノ伴奏やオーケストラとともに聴きいただきます。
(詩は、プロジェクトのために被災地の詩人が書き下ろしたものです)

第1部 被災地への思い、いのちへの思い ピアノとともに

- 1 混声合唱作品集「ふるさとのうた、いのちのうた」(全音楽譜出版社)より
・未来へ ・碧の子守唄 ・大切なふるさと ・樹憶
- 2 混声合唱組曲「黙礼」および「光と木の影に」(いづれもカワイ出版)より <作詩:和合亮一(福島)>
・祈る ・つばみ ・風の音、葉の音 ・生きる
- 3 混声合唱組曲「生きとし、生けるものへ」(全音楽譜出版社) <作詩:上田由美子(広島)> ～神戸初演～
・野辺 ・コスモスと少年 ・海神に守られて ・天と地と海と～祈りのラ・フォリア～
- 4 児童合唱組曲「今この時を」(全音楽譜出版社) <作詩:伊波希厘(沖縄)>
・風が生まれる ・わたしの空へ ・今この時を ・はじまりの日のうた

第2部 被災地から全国へ、全国から世界へ オーケストラとともに

- 1 女声(児童)合唱組曲「三陸鉄道が行く～小さな村の物語～」(全音楽譜出版社)より <作詩:宇部京子(岩手)>
・雪の村 ・村の子 ・胡桃の木の下で ・とうさんの海 ・三陸鉄道が行く
- 2 「スターバト・マーテル～悲しみの聖母～」(全音楽譜出版社)より
・Stabat Mater dolorosa ・Pro peccatis suae gentis ・Cum Vitam sentio
・Quand corpus morietur ・Precor ut homines beati sint
- 3 レクイエム～あの日を、あなたを忘れない～(全音楽譜出版社)全10曲

出演

指揮



上田 益



工藤欣三郎(仙台)



佐伯康則(広島)



留 佐江(神戸)

声楽ソリスト



ソプラノ: 緋田芳江(神戸)



ソプラノ: 北爪おり(神戸)



ソプラノ: 本宮麻子(東京)



アルト: 栗木充代(神戸)



アルト: 横町あゆみ(東京)



テノール: 岡本雄一(神戸)



テノール: 眞木喜規(神戸)



バス: 緋田吉也(神戸)



バス: 小藤洋平(東京)



バス: 大塚雅仁(東京)

ピアノ



林葉子(神戸)



陶山薫子(神戸)



河村泰子(神戸)



浅海由美子(神戸)



菅原紀子(仙台)



田所夕紀(東京)



ゲイル徳子(長崎)

オーケストラ 長岡京室内アンサンブルと仲間たち、仙台フィル有志

児童合唱 神戸市立桂木小学校合唱団



合唱

レクイエム・プロジェクト 神戸いのりとき合唱団
 ならびにレクイエム・プロジェクト 佐用いのりとき合唱団、レクイエム・プロジェクト 東京いのりとき合唱団
 レクイエム・プロジェクト 北いわて合唱団、レクイエム・プロジェクト 仙台合唱団、レクイエム・プロジェクト 広島合唱団
 レクイエム・プロジェクト 長崎合唱団、高田合唱団(陸前高田)の 各有志 総勢約230人

その他

各地の指導者: 橋 茂(神戸)、小林友美(北いわて)、佐賀慶子(仙台)、平川敬子(仙台)、大島久美子(広島)、大岩しのぶ(長崎)
 レクイエム・プロジェクト 副代表 高田 薫



技術の力で未来を支える



建設ファスニング技術を通じて道路・鉄道・建築耐震などの安全対策に注力し、社会の発展と環境づくりに貢献します。

GBRC 性能証明 第01-03号 改2

ハイブリット 耐震補強工法

本工法は、工事中の騒音や振動、粉塵を軽減できる特長を生かしながら、病院や学校あるいは事務所建築を中心とした、居ながらの耐震補強工事を可能としました。



内付工法 内装仕上げ例



外付工法 外観



ケー・エフ・シーはレクイエム・プロジェクトを応援します！



建技審証第1203号

せん断補強 RMA工法

「既存ボックスカルバートや擁壁などの連続壁に対し、内空断面を侵さず補強を行いたい。」そんな希望にお応えするため開発されたのが、RMA工法です。



RMA 工法施工前



RMA 工法施工後

【事業内容】

耐震関連工事の設計・施工及び環境・安全施設工事
建設用ファスナー類及び付属品の販売・施工
トンネル掘削用資材の販売

【事業所】

東京・大阪・名古屋・札幌・仙台
横浜・静岡・岡山・広島・福岡



株式会社 ケー・エフ・シー

<http://www.kfc-net.co.jp>